

# 立正大学図書館所蔵明代南蔵について

(立正大学文学部) 野沢佳美

## 1. 歴史研究資料としての印刷大蔵経

- 1) 印刷大蔵経(漢文)開板の歴史→年表・系統図
- 2) 印刷大蔵経研究略史→『大蔵経関係研究文献目録』(野沢編、1993)
- 3) 歴史研究資料として
  - (1) 題記・刊記(施舎刊記)・補刻記→政治と仏教、仏教と民衆、文化伝播
  - (2) 刻工→書誌学(版本学)、出版文化史
  - (3) 字体・扉絵・角筆・音積など→文化史、仏教美術史、国文学史、言語学

## 2. 明代における大蔵経編纂

- 1) 南蔵; 洪武帝の勅命、板木は金陵(南京)報恩寺に保管、二つの南蔵
- 2) 北蔵; 永楽帝の勅命、板木是北京宮中の漢経廠に保管、完成は正統5年
- 3) 嘉興蔵; 明末の万暦~清初、方冊蔵、日本にも多く伝来、鉄眼版の版下  
※近年、中国から『洪武南蔵』『永楽北蔵』が相継いで影印刊行される。

## 3. 立正大学図書館所蔵の南蔵について

- 1) わが国の現存状況→立正大学図書館・山口県快友寺・大谷大学図書館、個人?
- 2) 立正大学図書館蔵本の現存状況→『立正大学図書館所蔵明代南蔵目録』(1989)
  - (1) 現存数; 268部558帖
  - (2) 印造年; 万暦18(1590)年
  - (3) 請経者; 山西潞安府長治県在住の趙継先とその一族、法住寺へ施入

## 4. 立正大学図書館蔵本から判明した事項

### 1) ふたつの南蔵問題

#### 《洪武南蔵》

明代刻造の三個官版中最初版本。又名《初刻南蔵》。明洪武五年(一三七二)勅令于金陵(今江蘇南京)蔣山寺開始点校、洪武三十一年刻完。全蔵六七八函、千字文編次天字至魚字、一六〇〇部、七〇〇〇多卷。永楽六年(一四〇八)遭火焚毀。保留下来的唯一印本、直到一九三四年才在四川省崇慶県上古寺中發現、已略有殘欠、并雜有部分補抄本和坊刻本在內。

#### 《永楽南蔵》

為明永楽年間据《洪武南蔵》的重刻本、編次有所改動。経版五七一六〇塊。全蔵六三六函、千字文編次天字至石字、一六〇一部、六三三一卷。経版蔵于報恩寺、由南京礼部祠祭清吏司主管批准、供全国各地寺院請印、平均每年約刷印二〇蔵、所以流伝の印本較多。該蔵雖系根据《洪武南蔵》重刻、但書写和鑲刻都不及《洪武南蔵》工整。

(『中国大百科全書(宗教)』、中国大百科全書出版社、北京、1988)

※「洪武南蔵」の板木を利用して再編集たものが「永楽南蔵」（改編は永楽14・15年ごろ）

根拠(1)；「洪武南蔵」の続蔵が永楽12年末ごろ完成したとの「識語」

- 『古尊宿語録』巻第21の巻末・浄戒の識語→正蔵部が永楽6年ごろ焼失？

根拠(2)；「永楽南蔵」（正蔵部）を再刻したのなら短時間過ぎる。

永楽6年？焼失 同10～15年再刻 同17年完成

根拠(3)；立正大学図書館所蔵「永楽南蔵」中の刻工

- 元末から明初に活動した刻工

王保・黄保・陳厚・陳魯・潘晋・楊保・朱祖・徐成・李成・李和・陳七・高山甫・芦顛・陳文・林伯福・黄還朗・王安・王全・黄道正・呉五・子得・薛志良・楊成・林伯福・何宗大・孫成・貝公亮・孟起宗

## 2) 南蔵と南京の経鋪問題

(1) 経鋪（仏書専門の民間出版業者）→北宋時代から出現。

南宋以降、杭州・南京・北京などに集中。

(2) 南蔵の印造を南京経鋪が担当→中国歴代印刷大蔵経に例なし。

(3) 立正大学図書館蔵本中の5つの南京経鋪→徐後山、徐龍山、徐雲泉、周鋪、曾鋪

※嘉靖年間末から万暦年間前半にかけて、複数の経鋪が協同印造体制をとっていた。



ひとつの経鋪に特定の仏典が集中しないように配慮されている。

(4) 経鋪の出版活動状況→仏書以外の書籍を出版 ← 立正大学図書館蔵本の裏打ち

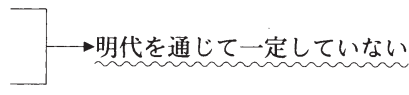
(5) 多数の印記の存在→経鋪の印造過程をうかがう資料？

## 3) 南蔵の函数・巻数問題

(1) 立正本の刊記→万暦18年、638函

(2) 完成当時→永楽17年、635函

(3) 「南蔵目録」→万暦年間後半、636函



## 5. 今後の印刷大蔵経研究の課題

1) 歴代大蔵経の現存状況の把握→とくに中国での調査・報告への期待。

2) 影印本出版における諸問題→近年、中国から各種の大蔵経影印本が出版。

『洪武南蔵』『永楽北蔵』『龍蔵』『中華大蔵経』など



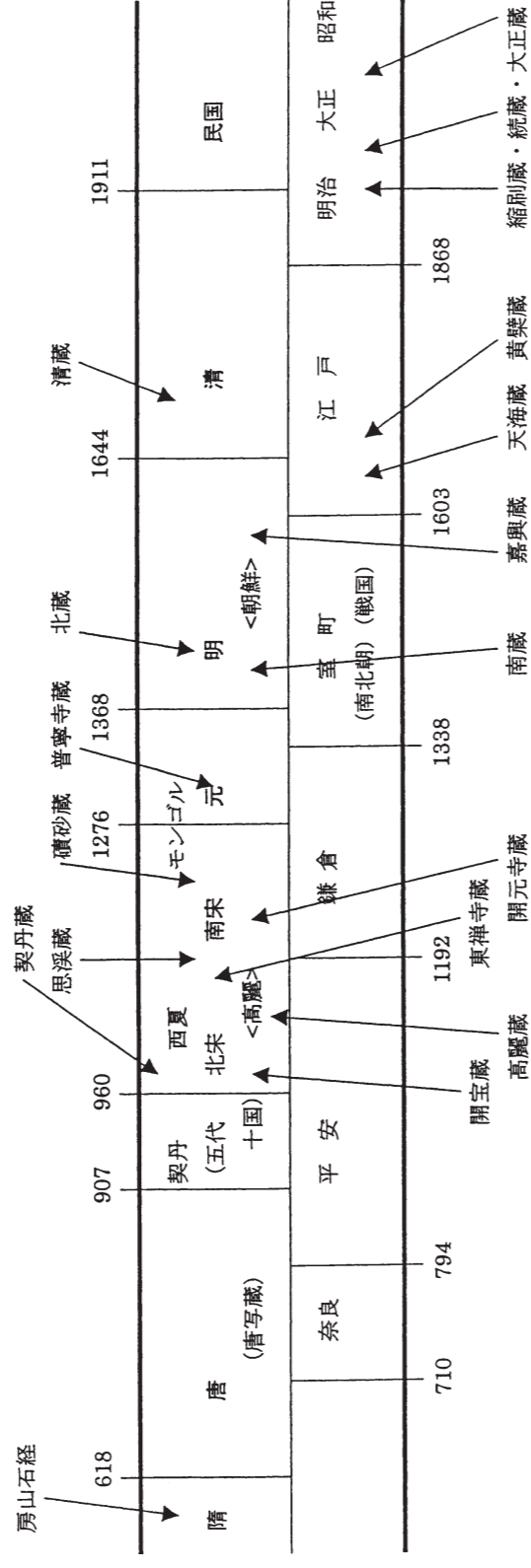
必ずしも“忠実な”影印ではない。

3) 国際的な総合的研究の必要性→日本・中国・台湾・韓国等の各分野の研究者による。

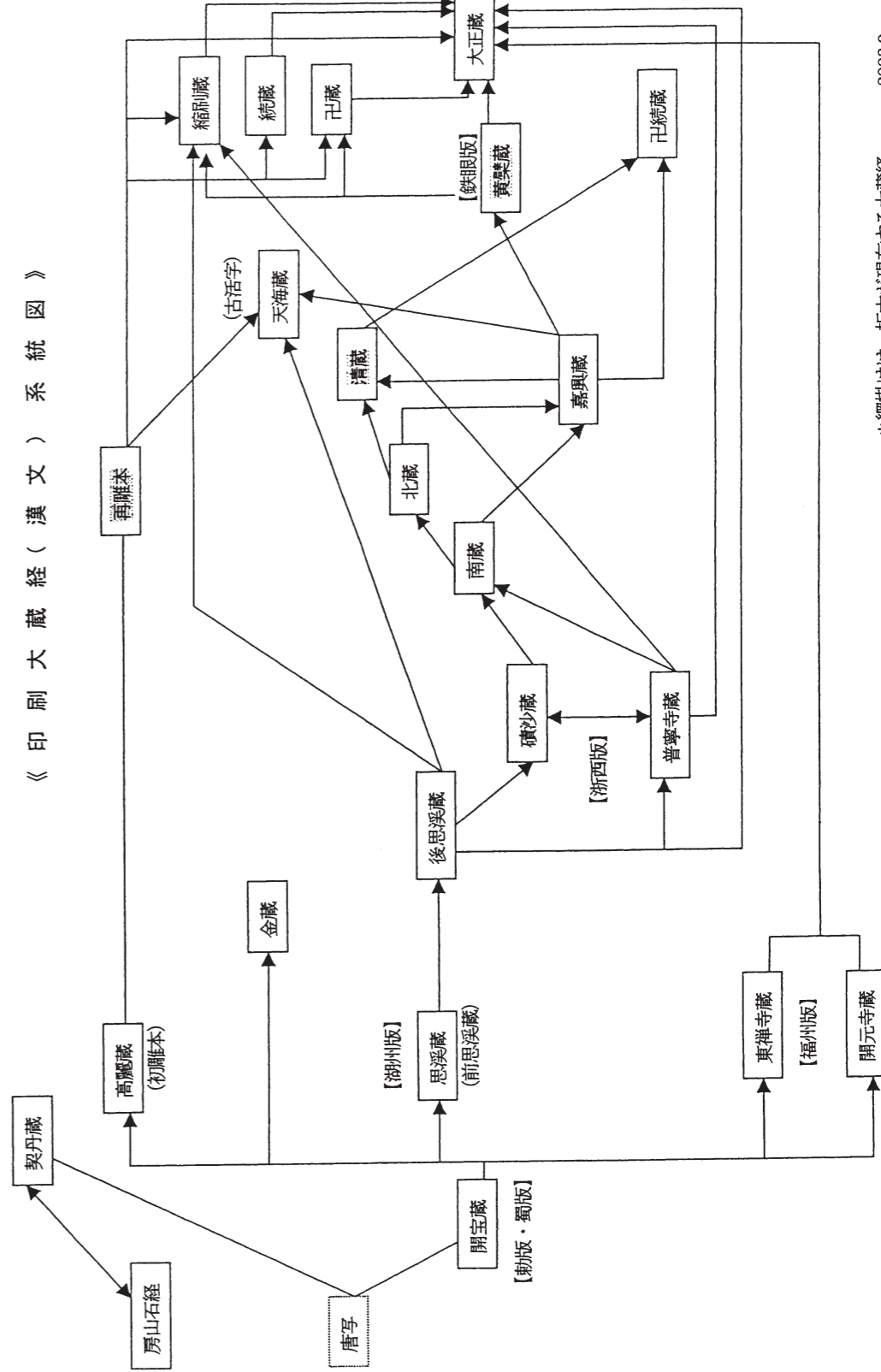


情報交換・総合学術調査・共同研究など

(一切経・衆経)		
589	280	A.D.25
晋 (北魏・北齐・北周) 南北朝 (宋・齐・梁・陈)	三国 (魏・呉・蜀)	後漢 (新)
飛鳥	弥生 (邪馬台国)	秦 漢 (新)
(一切経・衆経)		
B.C.770	B.C.221	A.D.25
【中国】 (朝鮮)	周 (西周) (春秋・戦国)	秦 漢 (新)
【日本】	繩文	後漢 (新)
(一切経・衆経)		
B.C.770	B.C.221	A.D.25
殷 周 (西周)	(東周) (春秋・戦国)	秦 漢 (新)
(一切経・衆経)		
B.C.770	B.C.221	A.D.25
【中国】 (朝鮮)	周 (西周) (春秋・戦国)	秦 漢 (新)
【日本】	繩文	後漢 (新)



《印刷大蔵経(漢文)系統図》



\*網掛けは、板木が現存する大蔵経

林盛刀

⑭「林盛」という施工名の下に「刀」という字を付す

言之不及思之不知

⑮横書きの刻工名「羊中」

入諸國大臣等

⑯行書風にかかれた刻工名

於院門外部位

⑰刻まれなかった刻工名

入諸國大臣等 於院門外部位

⑱刻工名「丘受」

榮小南音釋 第一卷 說一切有部毗奈耶第一快二十卷

⑲別帖に仕立てられた音釈

諸論又無前心往後心理者... 說一切有部發智大毗婆沙論卷第十一

⑲經典の巻末。巻末施財記・經典名・千字文・勸緣記

阿毗達磨大毗婆沙論卷第七... 雜蘊第一中智納息第三

⑳經典の巻頭。題記・經典名・千字文・訳經者

此丘故 日覆藏

㉑〇で囲まれた刻工名

因縁輕慢故... 於此生天上... 不善觀因縁

㉒道深という人物による重校(重刊)記

有一善護善道行者謂因他無惡語言也若他不惡語言者便不惡亦不憎嫉不憂懼

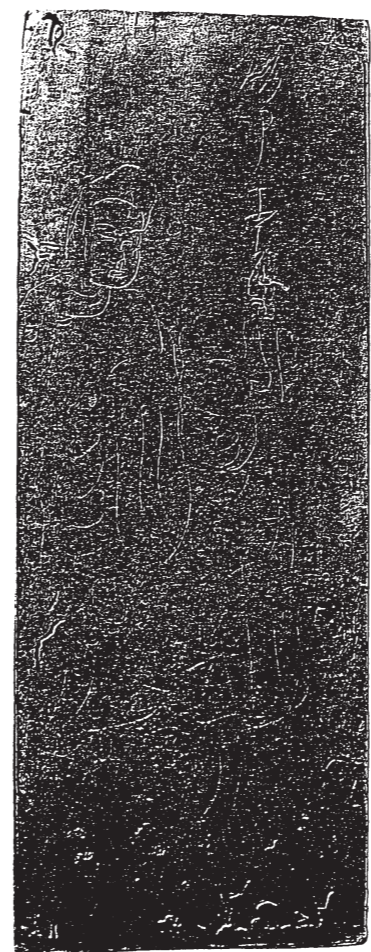
㉓版心の具体例「千字文・巻数・施財記」

可思議不可稱量無數 香界乃至鼻觸為縁所

㉔自身の平安を祈った女性による施財記

億歳ハ住永福重正正後未平平... 勞卒勞卒一苦當樓樓二十而

㉕魚尾と「五十巻」という具体的な金額の入った施財記



「宋版(思存版)大般若經」(岩藏寺藏)巻第百六十九後表紙 角葉による文字と絵の書き入れ

諸亦不沉没作是 為者廿月三見月

說色究竟不名為色受想行識餘法亦亦究竟... 諸亦不沉没作是為者廿月三見月

38〇大般若波羅蜜多經 卷561(宋版・東禪寺版)1帖 宋時代

初分般若相續... 若般若多由不行而得... 般若多由不行而得

㉖版木にうつす經典を書いた人物を示す

加葉為我... 弟子陳仲拾捨方刊板伍片

㉗女性による施財記

成熟諸有情類 尊是菩薩摩訶 尊者鬱伽羅法

㉘東禪寺版にしばしばみられる補刻記



㉙馬経



図7 経鋪C (龍藏)



図6 経鋪D (妙雲泉)



図5 経鋪C (徐龍山)

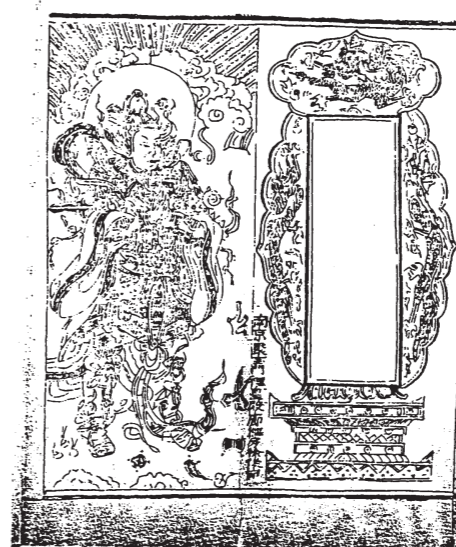


図4 経鋪B (徐後山)



図3 経鋪A (徐後山)

経鋪	印	記
A B	b, e, f, m,	
C	a, b, c, f, g, k, m, p,	
D	a, b, c, g, j,	
E	a, b, c, g, i, l,	
F	a, g, h, i, m, n,	

- ④
- a 類聖寺(經一三)種 横一五種
  - b 宇東泉(經一三)種 横一四種
  - c 龍山(經一四)種 横一三種
  - d 清涼寺(經一五)種 横一三種
  - e 平原部(經一三)種 横一三種
  - f 朝陽/寺道(經一三)種 横一三種
  - g 法華/寺道(經一三)種 横一三種
  - h 觀音寺(經一四)種 横一三種
  - i 四寺(經一三)種 横一四種
  - j 保安寺(經一三)種 横一四種
  - k 閑堂(以下六)種 横一四種
  - l 古桂天/軍寺道(經一三)種 横一三種
  - m 徐氏(經一三)種 横一七種
  - n 庚寅(經一三)種 横一四種
  - o 曹(經一三)種 横一六種
  - p 關(經一三)種 横一六種

- ⑤
- 大衆經般若部 (1-19) E
  - 宝積部 (20-53) E
  - 大集部 (54-77) E
  - 華嚴部 (78-104) E
  - 涅槃部 (105-111) E
  - 五大部外重訳経 (112-392) C B C
  - 単訳経 (393-533) F F F
  - 小衆経阿含経 (534-687) F F F
  - 単訳経 (688-775) F F F
  - 宋元入藏諸大小衆経 (776-1074) F F F F
  - 西土聖賢撰集 (1075-1224) F F
  - 律 (1225-1249) F F
  - 小衆律 (1250-1307) F F
  - 大衆律 (1308-1397) F F
  - 論 (1398-1434) C C C
  - 小衆論 (1435-1457) D
  - 統入藏諸論 (1458-1610) D D D D D D D D D D C
  - 此方撰述 (1458-1610) C C C C C C C C C E E F F A B

- ①
- A 南京聚宝門西口坊巷口徐房徐後山印行
  - B 南京聚宝門西口坊巷口徐房徐後山印行
  - C 南京聚宝門西口坊巷口徐房徐後山印行
  - D 南京聚宝門西口坊巷口徐房徐後山印行
  - E 南京聚宝門西口坊巷口徐房徐後山印行
  - F 南京聚宝門西口坊巷口徐房徐後山印行



図9 刊記



図8 経鋪F (曾南)

八年上章乞歸故山大  
明二年春僖宗遣難西  
書肩輿詔赴行在帝接  
谷田令汝與諸達官問  
令諸學士撰女師號皆  
朕以開示悟入法華之  
也悟達大道悟佛知見  
悟河沙劫所以悟者真  
賜悟達國師為號雖曰  
讓不遂乃乞歸九隴舊  
卧内見所曾遊歷聖境

圖10 版心に見ゆる諸師名目

⑥ 出入仏典推定表

冊	頁	石	編	天	冊	冊
六三九	六三八	六三七	六三六	六三五	六三二	六三一
大衆經般若部	大衆經般若部	大衆經般若部	大衆經般若部	大衆經般若部	大衆經般若部	大衆經般若部

- ⑤
- 宣德9年 聚宝門姜家來賓樓
  - 嘉靖39~41年 聚宝門外徐政印行
  - 嘉靖44年 南京聚宝門外第二牌樓邊師姑巷裏經房徐均泉印行
  - 万曆18年 南京聚宝門裡三坊巷口經房徐後山印行
  - 南京聚宝門裡皇殿廊經房徐後山印
  - 南京聚宝門外報恩寺前徐龍山印
  - 南京聚宝門外徐雲泉印
  - 聚宝門裏西廊周鋪印行
  - 及樸門裏會甫印行
  - 經鋪徐程錦・徐自強
  - 南京聚宝門裡三山街西南廊經鋪徐一登印行
  - 江南水西門裏三山街口往南一家經房胡君質鋪
  - 江南水西門裏三山街口往南一家經房胡公美
  - 南京聚宝門雨花台經房孟洪字印行
  - 聚宝門外徐用和經坊印行
  - 万曆34~35年
  - 万曆40年代?
  - 順治年間
  - (不明)
  - (不明)

一切中復有一切重重無  
藏性圓融無盡以真如性  
切法即真如故一切時處  
頌云若人欲識真空理身  
與非情共一體處處皆同  
一即見空此即真如含一切  
一一念劫收一切於一境  
中諸境界只用一念觀諸  
會時處帝網現重重一切  
者水之流洄洑之處一  
三難渡故法海洄洑亦然

圖11 同 二

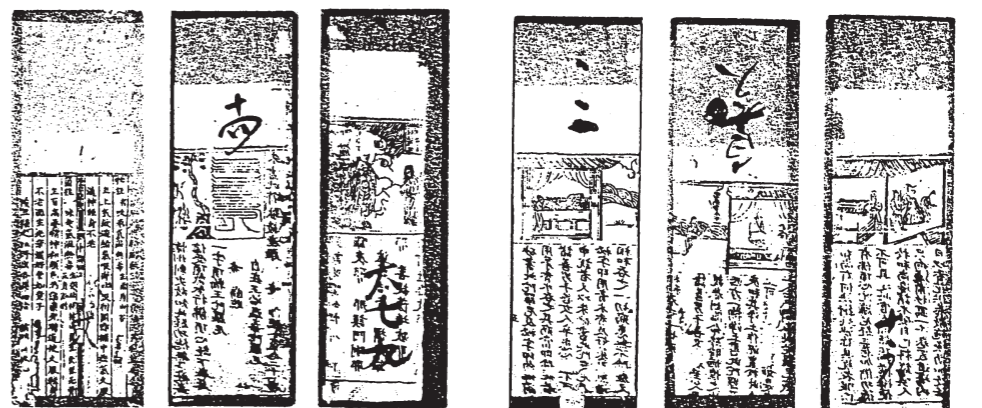
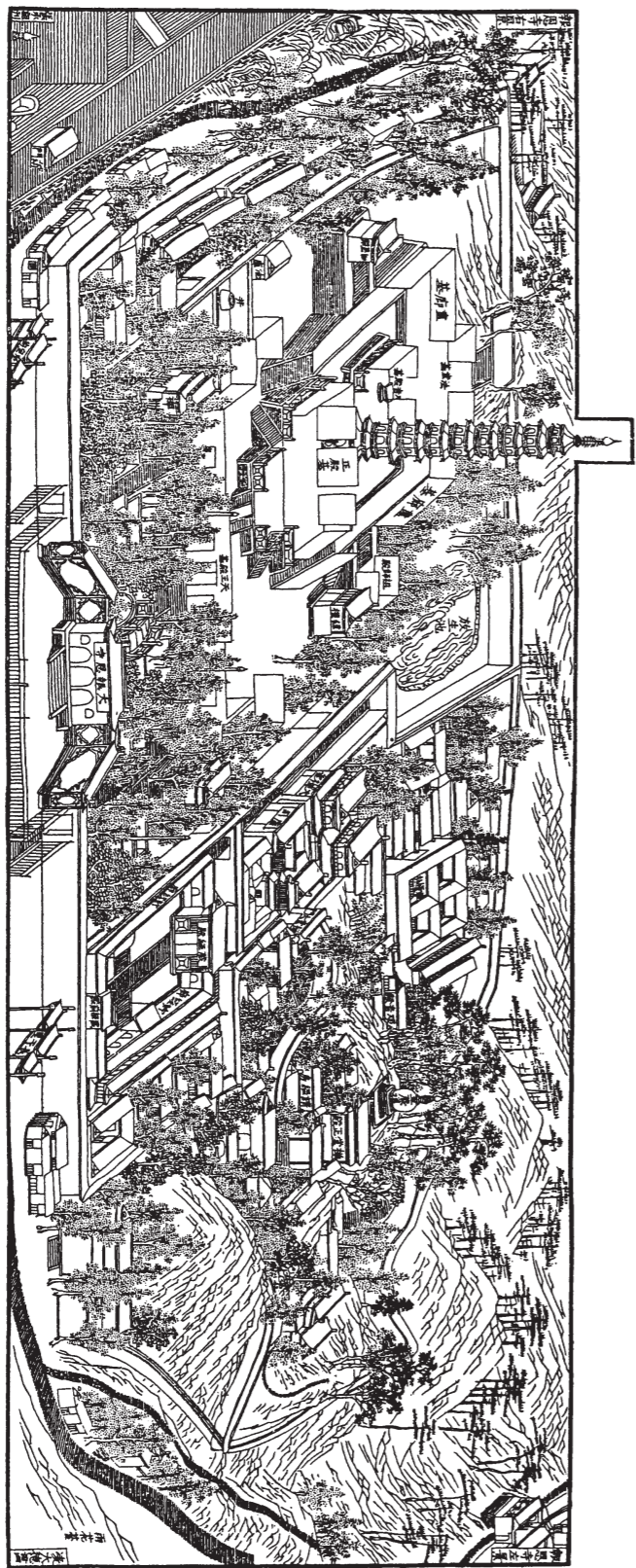
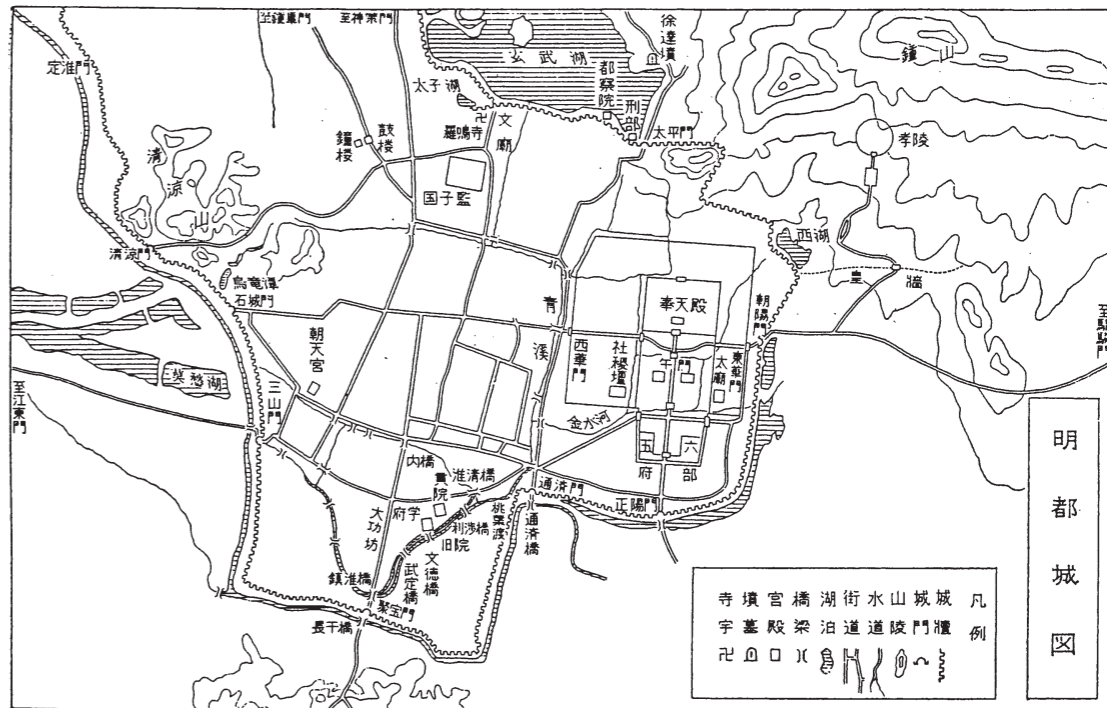


図18 表紙の裏方に使用された他の書影例

図19 同 二



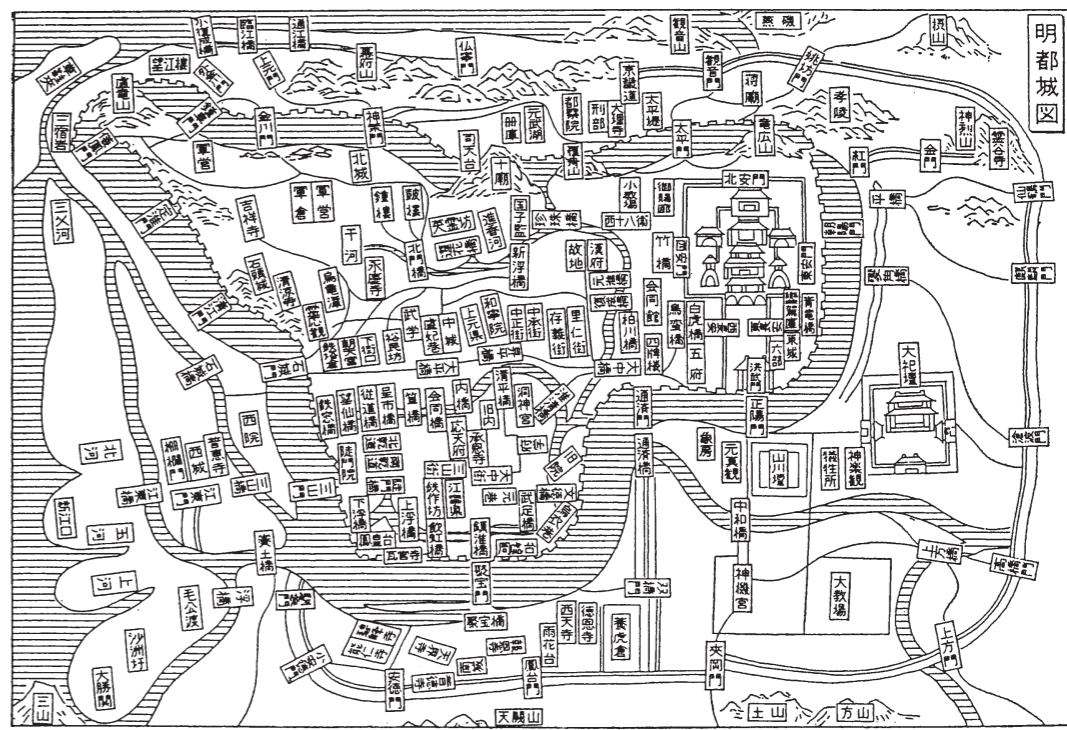
大報恩寺全圖(見金陵梵剎刻志)



明都城圖

凡城山水街橋宮壇寺  
例門道泊渠殿宇  
凡城山水街橋宮壇寺  
例門道泊渠殿宇

(板橋雜記 參照)



明都城圖

(板橋雜記 參照)